

広報ちりゅう 5月1日号

「教育委員会だより ～学(まなぶ)～」

～ 児童生徒とともに作ったブレザータイプの制服 ～

令和6年4月より、時代の変化に伴う多様な考え、価値観、気候の変化等に対応するため、知立市内の全ての公立中学校がブレザータイプの制服を、従来の制服に加えて選択できるようになりました。導入に向けた約2年間で、児童生徒とともに様々なことを考えてきました。

ブレザータイプの制服が導入された経緯を改めてお知らせしますので、児童生徒の活躍にも関心を持っていただければ幸いです。

- ・ 知立南中学校では、平成15年度より、希望者はブレザータイプの制服を選択することができました。
- ・ 令和3年に全国的に制服の見直しが進められたこと、知立市高校生議会における「制服の見直し」の提案などをきっかけとして、令和4年6月、知立南中学校生徒会より、知立中学校及び竜北中学校区の小中学校に「ブレザーを含めた制服選択制」が提案されました。
- ・ 中学校では全学年、小学校では5、6年生が、「ブレザーを含めた制服選択制」について話し合ったり、アンケートを実施したりしました。その結果、「ブレザーを含めた制服選択制」について、児童生徒から多くの賛同の声が得られました。
- ・ 令和4年8月、児童生徒の声を基に、市内3中学校の校長や保護者代表、小学校長代表の意見も参考にして、「ブレザーを含めた制服選択制」の導入を進めていくこととしました。
- ・ 令和4年12月、小学校4年生から中学校3年生の児童生徒に制服デザインのキーワードを募集したところ、「カキツバタ」が最多票を得たことから、カキツバタの色味を取り入れた制服のデザインを業者に依頼しました。
- ・ 令和5年1月には、各中学校のオリジナルボタンのデザインを生徒が行いました。応募があったデザインの中から、投票等でデザインを決定しました。3中学校とも「カキツバタ」がデザインに含まれ、その上でそれぞれの中学校らしさが表れるデザインとなりました。
- ・ 令和5年5月、小4から中3の児童生徒とその保護者を対象に、3つのデザインから1つデザインを選ぶアンケートを実施し、ブレザータイプの制服のデザインを決定しました。

選ばれたデザインのネクタイ・リボンは、「カキツバタ」の花の紫色を差し色として使用しています。シルバーのネクタイは様々な織り柄で構成して柔らかさを出し、ブルーの差し色も柔らかなトーンで合わせているため、軽やかさを感じるデザインとなっています。

また、スラックス・スカートのチェック柄に、紫色の糸を織り込んでいます。

知立市の子供たちとつくった素敵な制服ですので、末永く大切にしたいと思います。

